

スケッチ観察シリーズ

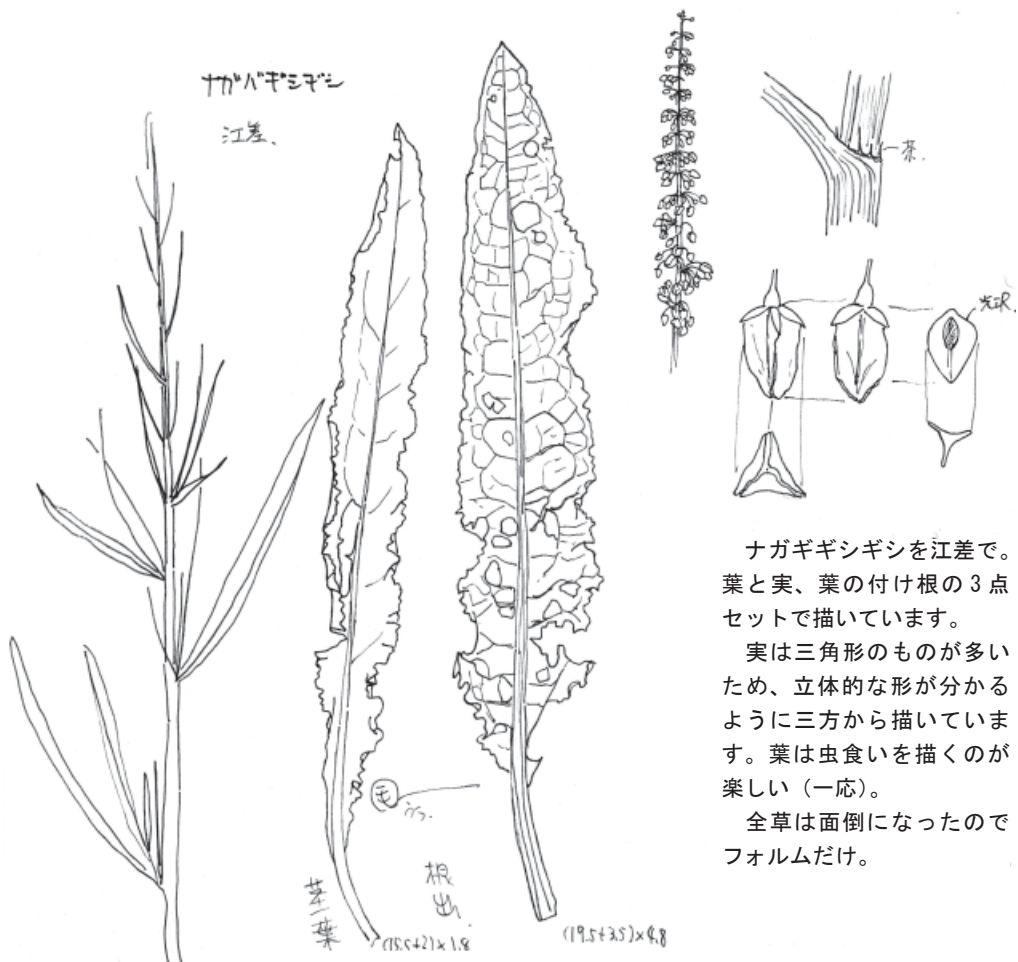
タデ科のスケッチ紹介

会社設立前にストックしていたスケッチブックから、植物グループごとにイラストで飲み分け方を紹介しています。今回は、通信 31 号でお見せしたマメ科のスケッチのまとめを紹介する予定でしたが、ページと時間の都合で、集中的にスケッチしていたタデ科を予告編で紹介します。

タデの仲間は北海道に 40 種以上あり、地味に見分けが面倒な植物です。大きく分けると、ギシギシ・スイバのグループ、ミチヤナギのグループ、ミゾソバのグループ、イヌタデのグループなど。一年草が多く、路傍に咲くものも多く、花は小さく目立たず茶色いものも多い、ということのでどのグループも割と地味地味感が。見分けもなか

なかやっかいです。今回はグループごとにスケッチの代表的なものを紹介します。

他でのスケッチのポイントは、ズバリ葉の付け根に付く「葉鞘」と、実の形です。正直、描いていてそれほど楽しい仲間ではないですが（スマン）、注目点があると描きやすくなりますので、是非。



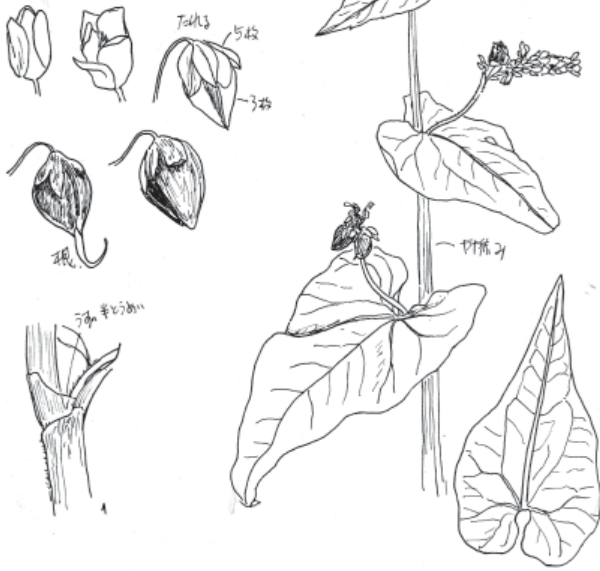
ナガギギギシを江差で。葉と実、葉の付け根の 3 点セットで描いています。

実は三角形のものが多いため、立体的な形が分かるように三方から描いています。葉は虫食いを描くのが楽しい（一応）。

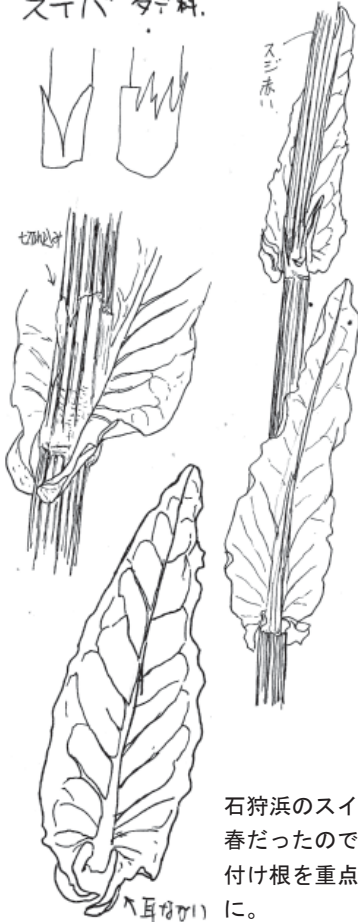
全草は面倒になったのでフォルムだけ。

もっとも活躍するタデ科？ソバ。新得の蕎麦畑で描く。

リバ
新得



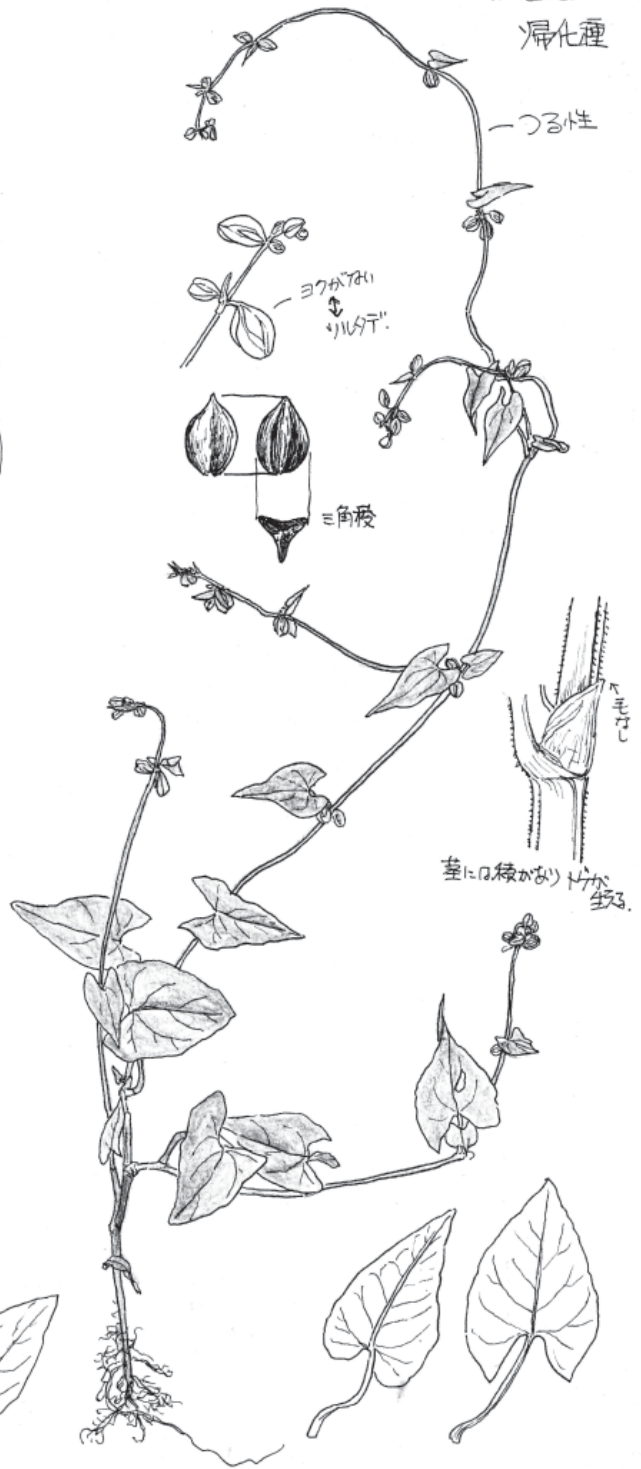
2000.5.24
石狩浜
スイバ タデ科.



石狩浜のスイバ。
春だったので葉の
付け根を重点的
に。
↑耳が大きい。

384. リバカズラ タデ科

三股杯道木。
帰化種

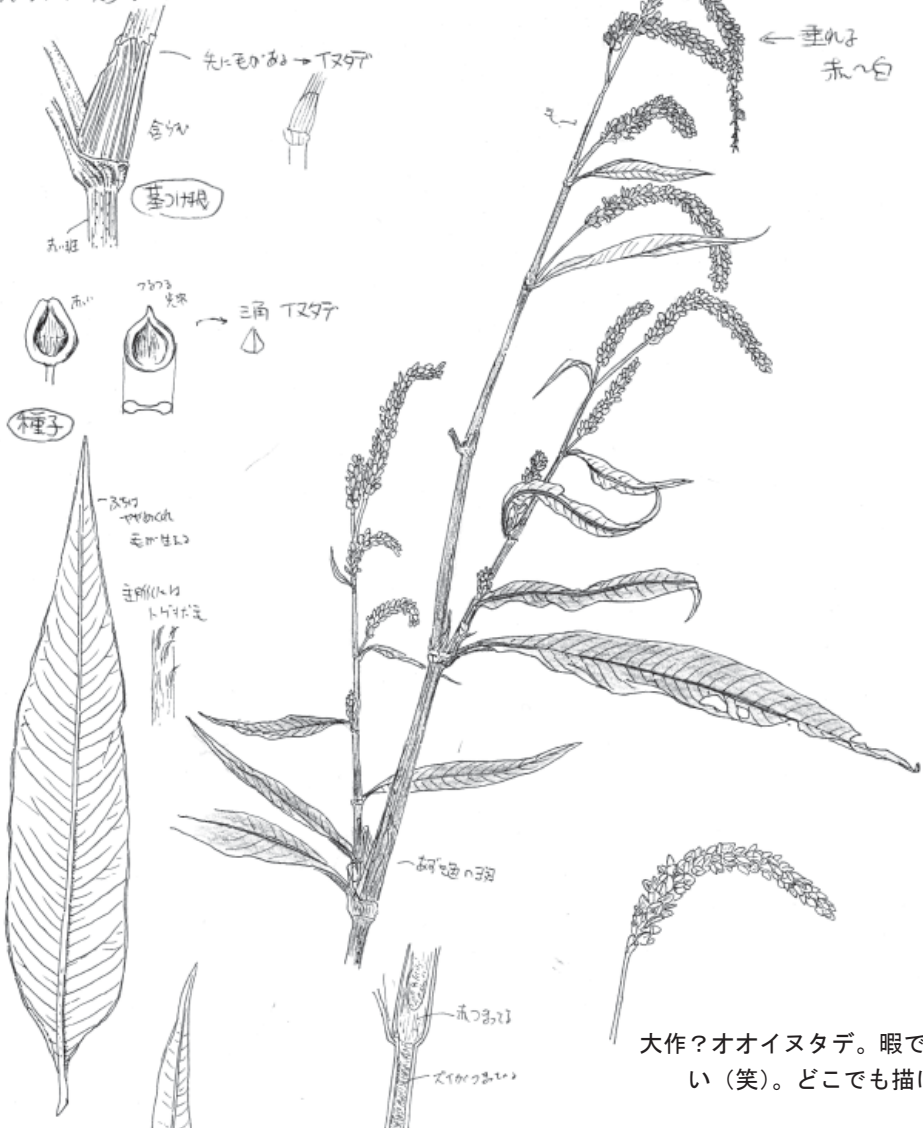


十勝三股のソバカズラ。つるものは全体像が描きにくい。
あまり標本っぽいのもつまらないので、悩みどころ。

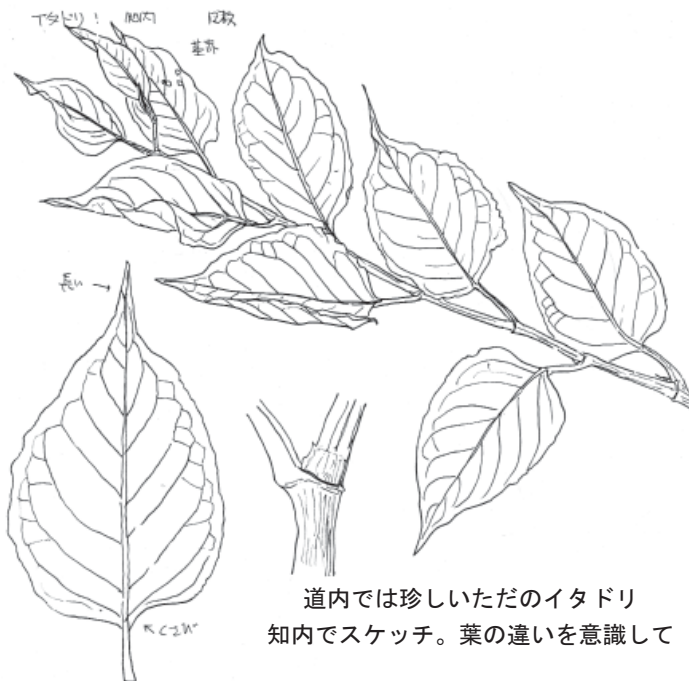
39. オオイヌタデ

北入

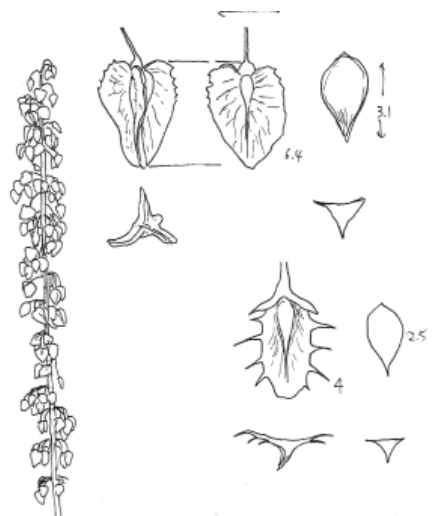
97. 9. 2



大作? オオイヌタデ。暇でないと描けない(笑)。どこでも描けますが。



道内では珍しいただのイタドリ
知内でスケッチ。葉の違いを意識して



タネのみのスケッチも。
ノダイオウとエゾノギシギシ